

平成29年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画に基づく事業計画に沿って、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

1 法人運営事業

改正社会福祉法による社会福祉法人制度改革に対応して定款・各種規程の改正等を行うとともに評議員選任・解任委員会の設置、経営組織のガバナンスの強化・財務規律強化に向けた体制整備を行い、市内社会福祉法人と協働による地域福祉の推進を図り、次の事業を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

会員制度は、本会事業を住民の協力・支持によって、社会福祉事業を進める基本的な制度であり、区・町内会、民生児童委員の協力により財政的に支援いただく会員の拡充を図りましたが、会員の数は、年々減少しており、自主財源確保が重要な課題であります。

普通会費	市民会費	16,988世帯
	施設事業所会費	22施設（市内社会福祉施設、事業者連絡協議会）
賛助会員	市民賛助会費	784篤志家・事業所
	法人等賛助会費	5会社・組合の寮保養所、単位老人クラブ

(2) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催（年4回）

年 月 日	審 議 案 件
平成29年 5月23日 （出席者 理事14名、 監事2名）	定款細則の改正、経理規程の一部改正、常務理事報酬規程の一部改正、理事・監事選任規程の一部改正、評議員候補者の推薦、平成28年度事業報告並びに会計決算の認定、定時評議員会の開催について
平成29年 6月20日 （出席者 理事15名、 監事2名）	会長・副会長の選任について、常務理事の選任について
平成29年 8月31日 （出席者 理事15名、 監事2名）	定款の改正、平成29年度資金収支補正(案)の認定、評議員候補者の推薦第2回評議員会の開催について
平成30年 2月26日 （出席者 理事15名、 監事2名）	臨時職員就業取扱要領の一部改正の専決処分の報告承認、定款の改正、評議員選任解任委員会運営細則の一部改正(案)について、平成29年度資金収支計算書補正予算(案)、平成30年度事業計画(案)、平成30年度資金収支計算書予算(案)の認定、評議員選任候補者の推薦、運営資金の短期借入(案)、第3回評議員会の開催について

② 評議員会の開催（年3回）

年 月 日	審 議 案 件
平成29年 6月20日 (出席者 評議員 24名、監事1名)	定款細則の改正、経理規程の一部改正、常務理事報酬規程の一部改正、理事・監事選任規程の一部改正、理事・監事の選任、平成28年度 事業報告並びに会計決算の認定
平成29年 9月26日 (出席者 評議員 28名)	定款の改正、平成 29 年度資金収支補正(案)の認定、理事の選任について
平成30年 3月26日 (出席者 評議員 25名)	臨時職員就業取扱要領の一部改正の専決処分の報告承認、定款の改正、平成 29 年度資金収支計算書補正予算(案)、平成 30 年度事業計画(案)、平成 30 年度資金収支計算書予算(案)の認定、理事の選任について

(3) 評議員選任解任委員会の開催（年3回）

改正社会福祉法により評議員の選任に関して、外部委員2名、社協監事1名、事務局2名の計5名で構成する委員会を設置し、評議員の選任を行った。

回数	開 催 日	出 席 者	選任評議員数
1	平成29年5月23日(火)	外部委員2名、監事1名、事務局員2名 計5名	2名
2	平成29年9月15日(金)	外部委員1名、監事1名、事務局員2名 計4名	5名
3	平成30年3月12日(月)	外部委員1名、監事1名、事務局員2名 計4名	3名

(4) 社会福祉法人連絡会の開催

市内社会福祉法人の連携・協力体制づくりを目的に、社会福祉法人の公益活動を進めるための情報交換及び連絡調整を行った。

①連 絡 会

- ・開催日時 平成29年11月2日（金）午後1時30分～午後3時00分
- ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
- ・出席者 市内 12 社会福祉法人 22 名（城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、珀寿会、伊東つくし会、クープ、伊東市社会福祉協議会）
- ・内 容 各法人の人材確保及び第三者評価への取り組みの情報交換、合同職員研修の開催について

②合同研修会

- 対島地域ふるさと協議会と共催で地域シンポジウムを開催した。
- ・開催日時 平成29年11月29日（水）午後1時30分～午後4時00分
- ・場 所 伊東市観光会館 別館
- ・テ ー マ ①基調講演 「静岡県が目指す地域福祉社会」
- ・講 師 静岡県健康福祉部福祉長寿局 局長 高橋 邦典 氏
- ②シンポジウム 「助け合う住民主体のまちづくり」
- コーディネーター 小規模多機能りん施設長 森 茂廣
- パネリスト 村上雅啓 氏（元市保健福祉部長）
- 岩本悠太 氏（伊豆高原十字の園）
- 三島秀介 氏（ボランティア）
- ・参加者 120 名 土屋康美 氏（地域包括支援センター管理者）

(5) 子ども子育て支援事業者連絡会の開催

社会福祉法人連絡会に参加する保育園などの子育て支援事業者が子育て支援の充実を目的に各法人で課題を共有し、協働活動の連絡調整を図った。

- ・定例会の開催 6回（平成29年4月25日、6月23日、7月27日、8月28日、9月28日、10月17日）
- ・伊東市長及び教育長との意見交換（平成29年11月22日（水）11:30～ 市長公室）
伊東市の子育て支援についての現状と課題等を市長及び教育長に要望を行った。
- ・地域貢献活動の実施（あたたかマタニティ支援）
妊娠中の方が保育園での赤ちゃんの様子を見学し、保育士への子育てに関する相談を通して、出産前の不安や戸惑いを和らげるなど、安心して生み育てる環境づくりへの支援を行った。

(6) 苦情解決第三者委員会の開催

サービス利用者からの苦情に適切かつ迅速に対応し、解決を図るとともにサービス利用者からの苦情解決を密室化せずに円滑な解決を図る苦情解決第三者委員会を開催し、サービス改善を図った。

- ①開催回数 1回（平成30年3月22日（木）午前10時30分～午前11時30分）
- ②場 所 伊東市健康福祉センター 2階 調理実習室
- ③出席者 第三者委員2名・事務局7名
- ④報告件数 5件（苦情2件、その他3件）

(7) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源、施設助成、要援護者の支援に活用した。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
27件	459,518 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
12件	車椅子1台、納豆 1,187食、遺失物取得品、菓子・果物・缶詰、ヤクルト 1,884本、タオル284枚、ぞうきん65枚、ペットボトルキャップ29,130個、プルタブ258kg、綿菓子機械、座布団10枚、チャイルドシート1台

※物品の使い道：車いすの貸出、食品は市内社会福祉施設、遺失物はふれあい広場のバザー用品として使用したほか、タオルとぞうきんは災害への備えとして、保管した。

(8) 静岡県健康福祉大会への参加

平成29年10月25日（水）、静岡県グランシップにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市から県社協会長表彰16名（民生委員 1名、保護司 3名、施設職員 11名、社会奉仕者1名）が表彰され、民生児童委員関係者を含め8名が参加した。

(9) 広 報 活 動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回（9月、10月、12月、3月）“社協だより”を全戸配布（29,800戸）し、広報啓発を図った。

②ホームページによる情報開示

市民へ迅速に情報提供を行うためにホームページの活用を行った。

(10) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のために以下の会議・研修に職員を派遣した。

- | | |
|---|------------|
| ①会長・事務局長関係会議・研修 | 3日 延べ 3名 |
| (県市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等) | |
| ②事務局職員関係会議・研修 | 35日 延べ 39名 |
| (生活福祉資金貸付事業担当者会議、ファミリーサポート事業アドバイザー・子育て支援研修、共同募金事務担当者会議、生活困窮者自立相談員研修会、生活困窮者自立相談員連絡会、生活困窮者家計相談員研修会、福祉教育担当者会議、地域福祉を考える会議、会計担当者実務研修、決算実務研修会、リース会計研修、成年後見制度利用促進セミナー、生活支援コーディネーター養成研修、人材派遣事業説明会、ファミサポアドバイザー研修会) | |
| ③介護保険事業関係職員会議・研修 | 28日 延べ 40名 |
| (主任介護支援専門員研修、介護支援専門員研修、介護保険事業者集団指導、障害福祉サービス事業者説明会) | |
| ④地域包括支援センター職員会議・研修 | 10日 延べ 12名 |
| (認知症初期集中支援チーム研修、地域包括職員基礎研修、主任介護支援専門員研修、主任介護支援専門員研修、総合支援事業説明会、地域包括ケア推進に係る研修、成年後見制度利用促進研修) | |
| ⑤その他 | 5日 延べ 7名 |
| (老人クラブ事務担当者・新任会長研修会、老人クラブ会長研修会) | |
| 計 81日 延べ 101名 | |

2 地域福祉推進事業

(1) 地域での福祉を推進する基盤づくり

地域での福祉問題を共有し解決を図るために「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画の推進に取り組んだ。

①街づくり検討会の開催

地域福祉活動計画において、住民の声として、把握された「居場所づくり」や「要支援者の見守り」活動の課題が明確となり、地域での取り組みについて、意見交換を開催した。

- ・湯川地区街づくり検討会 1回開催 (区長、女性連盟、民生委員、食推協、伊東包括)
- ・松原地区街づくり検討会 1回開催 (区長、女性連盟、民生委員、食推協、伊東包括)

②地域の居場所づくり・運営への支援

地域の高齢者のつながりをつくる居場所の立上げと継続的運営への支援を行った。

- ・宇佐美地域居場所「ほのぼのサロン」 11回
- ・松原地域居場所「サロンまつばら」 8回 (地域包括と共催)
- ・湯川地域居場所「湯川の居場所」 4回 (地域包括と共催)

③対島地域ふるさと協議会の運営協力

各区・民生児童員・老人クラブ・ボランティア・地域内社会福祉法人が地域の福祉課題を共有し、問題解決を図る協働の場づくりへの事務局の支援を行った。

(2) ボランティア登録及び保険の加入促進

①ボランティア登録状況

・個人ボランティア 29名 ・団体ボランティア 49団体921名

②ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動する個人・団体の登録及び活動中の事故に備えて、保険の加入促進を行った。

・保険加入者数 35団体781名、個人27名 ・ボランティア行事用保険 16件2,359名

(3) ボランティアニーズの需給調整

ボランティア活動を希望する個人・団体と支援を求める施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図った。

相談件数	幹		旋	
	施設向け	在宅向け	その他	合計
19件	7件	1件	11件	19件

(4) ボランティア交流会・研修会の実施

①障害児者とボランティアとの交流事業

手をつなぐ育成会会員とボランティアが防災をテーマとする研修とゲーム・レクリエーションを通して、交流を図った。

・日 時 平成30年3月3日(土)10:00～14:00

・場 所 健康福祉センター2階 多目的ホール

・参加者 47名(手をつなぐ育成会34名、中高生5名、ボランティア6名、事務局2名)

②中高生福祉体験講座「街づくりプロジェクト」

市内在住の中高生を対象に障害福祉に関する理解を深めることを目的に、市内観光施設・公共施設、公共交通機関等に対し、障害のある方の視点での点検活動(バリアフリー調査)を通して、安心安全な街づくりへの理解と関心を広めた。

・実施日 7日(平成29年8月17日・18日・24日・25日、9月24日、10月12日・11月15日)

・実施場所 健康福祉センター・市街地、伊豆シャボテン動物公園、伊豆急行本社

・参加者 18名(中高生11名、外部講師2名、教諭1名、事務局4名)

(5) 地域福祉講演会の開催

①福祉講演会(在宅高齢者介護啓発)

・開催日 平成29年9月10日(日)13:30～15:00

・開催場所 市健康福祉センター 2階 多目的ホール

・講師 講師 田辺 鶴瑛 氏

・テーマ ハッピーエンド介護 ・参加者 150人

②地域福祉講演会（子ども貧困問題）

- ・開催日 平成30年2月1日(木)13:30～15:00
- ・開催場所 市健康福祉センター 2階 多目的ホール
- ・講師 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク代表
広がれ、子ども食堂の輪！全国ツアー実行委員会委員長
栗林 知絵子 氏
- ・テーマ 「広がれ、子ども食堂の輪！」 ・参加者 100人

(6) ボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）の開催

ボランティアグループ11団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情報交換を行った。

- ・定例会の開催 11回
- ・その他（ボランティア研修） 1回

(7) 災害ボランティアネットワーク事業

①伊東市防災フェアにおいて、災害ボランティア活動団体の紹介及び活動実績を展示した。

- ・展示期間 平成30年1月15日(月)～1月19日(金)
- ・会場 市役所ロビー

②市内の災害対策関係団体で構成する防災会議へ職員を派遣し、災害ボランティアセンターの活動についての説明を行った。

- ・平成30年1月24日(水)
- ・会場 市役所 展望ギャラリー

(8) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

- ・福祉体験学習の指導 16件
- ・福祉機器の貸出 9件
- ・講師の紹介 18件
- ・福祉の情報提供 1件

(9) 第36回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めた。

- ・開催日 平成29年9月24日(日) 10:00～14:00
- ・会場 健康福祉センター全館
- ・参加者 2,000人

(10) 第41回伊東市社会福祉大会の開催

永年にわたり社会福祉に貢献された方や団体・機関へ表彰・感謝を送る表彰式典を開催し、地域の未来を担う子どもたちへの福祉教育をテーマとする講演会を通して、地域ぐるみでの子どもの育ち支援の必要性の啓発を図った。

- ・開催日 平成29年6月24日(土)
- ・会場 健康福祉センター多目的ホール
- ・参加者 200人
- ・講演 「地域で学び、地域と育つ」
- ・講師 伊東市立宇佐美中学校教諭 鈴木真澄 氏

(11) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
77件	6件	1件	1件

※その他の福祉用具：シャワーチェア、杖

3 在宅福祉推進事業

(1) ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあいの楽しみ会）の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回、参加者329人で市内景勝地（大室山）において、ウォーキングやレクリエーションを行い、介護予防とともに参加者相互の交流を通しての孤独感の解消を図った。民生委員（51人）の参加も年々増加しており、地域でのつながりを深めている。

(2) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

①心配ごと相談（毎週水曜日午後1時30分～4時・健康福祉センター）

民生児童委員による市民からの日常生活で抱える課題の相談に応じ、問題解決のための助言及び他機関の紹介を行った。相談件数は減少しているが、生活困窮や離婚、家族の病気など気軽に相談できる人がなく、問題が多様かつ多重になってきている。

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	貯蓄・贈与	教育青少年	身体障害者福祉	老人福祉	苦情	D	その他	合計
所内解決	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	9
他機関紹介	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	10
合計	2	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	3	19

②総合相談（毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く）

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	貯蓄・贈与	教育青少年	身体障害者福祉	老人福祉	苦情	D	その他	合計
所内解決	309	0	9	12	1	0	0	0	125	0	44	0	1	1	9	86	2	0	122	721
他機関紹介	15	0	1	3	8	0	5	0	0	9	34	0	2	0	0	0	7	0	35	119
合計	324	0	10	15	9	0	5	0	125	9	78	0	3	1	9	86	9	0	157	840

(3) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日健康福祉センターにて実施し、市民からの相談における法的ニーズに対応した。本年度は、相談件数は5件増加しており、相談内容は相続、借金、不動産の順に多くなっている。

実施日数 22日（中止2日：申込状況による） 相談件数 107件

4 受 託 事 業

(1)健康福祉センターの指定管理運営（指定管理期間：平成29年度～平成33年度）

子育て支援、市民の健康づくり、高齢者の生きがいづくり等介護予防、地域活動の拠点施設の管理運営を行った。

- ・開設日数 359日 ・利用回数 2,158回
- ・総利用人数 68,886人（一日当たり利用者191.9人）

内訳			
1階	市民活動室	67回	1,597人
	生きがい交流室(カラオケ・和洋室)	981回	7,905人
	喫茶コーナー“すう”	—	2,396人
	子ども広場“すきっふ”	—	20,208人
	電位治療器“スカイウェル”		6,880人
2階	多目的ホール	518回	14,203人
	健康スタジオ	277回	8,478人
	調理室実習室	315回	7,219人

(2)桜木生きがいデイサービスセンターの管理・経営（指定管理期間：平成29年度～平成33年度）

介護保険対象外の高齢者の方を対象に介護予防を目的に送迎・健康チェック・介護予防体操・屋内屋外レクリエーション（カラオケ、各種ゲーム、花見、カラオケ、ウォーキング等）、入浴の通所サービス事業を実施した。

- ・サービス提供日 月曜日～金曜日 ・サービス提供時間 10:00～15:00
- ・運営日数 244日 ・利用者数 71名（男性14名、女性57名）
- ・延利用者数 2,549名（男性501名、女性2,048名）

(3)介護予防拠点施設シニアプラザ湯川・くすみの受託運営（指定管理期間：平成29年度～平成33年度）

市内2カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に、仲間づくりを通じた生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

- ① 延開館日数 570日（湯川277日、くすみ293日）
- ② 平均開館日数 285日
- ③ 延利用人員 12,753人（湯川6,025人、くすみ6,728人）
- ④ 平均利用人員 6,376.5人
- ⑤ 実施内容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、絵手紙教室、介護予防体操、麻雀教室、太極拳

(4)介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に介護予防を目的として、体力や筋力低下を防ぐための介護予防チェックリストにより、参加者の身体状態に合わせた一次・二次の体操教室を開催した。

①一次予防教室（1教室10回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
7教室	鎌田温泉会館、泉会館、健康福祉センター 旧保健福祉センター	70回	147人	1,385人

②二次予防教室（1教室12回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
2教室	旧保健福祉センター	24回	20人	194人

③フォローアップ教室（1教室 1回）

教室数	開催場所	回数	参加者数
11教室	旧保健福祉センター・泉会館	11回	99人

(5) ファミリーサポート事業（子育て支援）の受託運営

子育ての支援を受けたい人(依頼会員)と支援する人（支援会員）、その両方を兼ねる人（両方会員）が会員として登録し、小学低学年までの子を対象に支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎などの助け合いを通して、子育て世帯への支援を実施した。

- ① 会員登録数 245名（依頼会員180名、支援会員 58名、両方会員 7名）
- ② 支援活動実績 依頼件数 848件 支援件数 694件

内訳

依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	131件	85件
学童の放課後の預かり	5件	0件
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	2件	2件
子どもの習い事等の場合の援助	124件	105件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	498件	435件
保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	5件	5件
保護者等の外出する場合の援助	38件	27件
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	3件	3件
他の子どもの世話や用事の場合の援助	8件	5件
その他	34件	27件

③支援会員の養成

- ・開催回数 1回
- ・開催日時及び参加者
第1日目：平成29年11月28日(火) 9:30～12:30) 参加者7名
第2日目：平成29年12月 7日(木) 9:30～15:30) 参加者7名
- ・内 容 子どもの接し方・遊び方、子どもの病気とその看護、子どもの食事と栄養気になる子どもと保護者の関わり方、事業概要説明、スキップ見学
- ・講 師 市子育て支援課 保健師2名、市健康医療課 栄養士1名、ファミサポ保育士1名

④会員の情報交換

- ・情報紙「ファミサポ通信」の発行（245部） 年間3回（6月、12月、3月発行）
- ・支援会員と両方会員向け情報誌「サポート通信」の発行（65部）年1回（7月発行）

⑤その他の活動

- ・宅児ボランティア（支援会員7名・アドバイザー3名）
旭小において、父兄会の際に校内に開設する子どもの宅児所を実施。（年間4回）
- ・イベント参加
事業内容の啓発のために「ふれあい広場(平成29年9月24日)」のイベントでのブースを設置し、事業の啓発を行った。

(6) 地域包括支援センターの受託運営

保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等の8名を配置し、地域包括ケアの基盤整備、総合相談支援、権利擁護、介護予防へ取り組むなど、包括的・継続的ケアマネジメント支援といった地域包括ケア推進の中核機関として活動を進めるとともに、認知症カフェ・高齢者の居場所における運営や支援を実施した。

① 総合相談支援・権利擁護(虐待の防止)

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行い、また、高齢者の人権や財産を守るため、関係機関と連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

・相談件数と相談経路

相談方法	来所	電話・FAX等	訪問	その他	合計
相談件数	451人	3,104人	2,592人	165人	6,312人

・主な相談内容

医療・在宅介護・認知症高齢者に関する相談とともに、体調変化の不安や精神的な支えを求める相談内容が著しく増えており、家族・親族とのつながりや地域での孤立した状況が伺われる。

- ・介護保険に関する相談
- ・医療に関する相談
- ・在宅介護に関する相談
- ・介護予防に関する相談
- ・施設入所に関する相談
- ・認知症高齢者に関する相談
- ・家族、経済問題等の相談
- ・制度利用の申請代行
- ・介護支援専門員への支援
- ・権利擁護、成年後見制度に関する相談
- ・住宅改修に関する相談

② 共通の支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運営状況	回数	運営状況	回数
地域ケア会議	2	関係団体との会議	34
包括会議	4	相談協力員	0
包括部会（三職種）	23	研修会	22
その他(介護予防教室、サロン行事)	40		

③ 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように個々の高齢者の状況に応じたケアマネジメントの実施、介護支援専門員の資質向上のための指導・助言、他職種連携による長期的継続的な支援を実施した。

- ・ケアマネジメントへの支援 64回

④介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する者及び日常生活支援総合事業の対象者に対して、介護予防計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

・介護予防支援（予防給付）

年間延作成件数 2,288件(直営 888件、委託 1,400件)

・ケアマネジメントA（総合事業サービスのみ）

年間延作成件数 1,161件(直営 480件、委託 681件)

・ケアマネジメントB（訪問型・通所型サービスC等）

年間延作成件数 25件(直営 25件)

・ケアマネジメントC（配食サービス等）

年間延作成件数 22件(直営 22件)

⑤認知症カフェの運営

気軽に立ち寄れる「認知症かふえCoCo」を運営し、季節に応じたレクリエーションや講話を通じて、認知症の方及びその家族が認知症に対する理解を深め、利用者相互の交流を図った。

- ・開催場所 健康福祉センター1階市民活動室
- ・開催回数 6日（月1回）
- ・参加者数 68人

⑥高齢者の居場所づくりへの運営支援

高齢者の閉じこもりを防ぎ、健康で自立した生活の継続を目標にレクリエーション・体操・お茶会等を実施し、関係機関と協力して居場所の運営を行った。

- ・実施地区 3カ所（湯川居場所、サロンまつばら、丸山町居場所）
- ・実施場所 シニアプラザ湯川、ふれあいセンター、丸山町集会所
- ・開催日数 延20日（湯川：4日、松原：8回、丸山町：8回）
- ・延参加者数 460人（湯川：104人、松原：288人、丸山町：68人）

(7) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

[県社協委託事業]

高齢による認知機能の低下や障害から判断能力が不十分な方々が安心して暮らせるように福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施した。

① 会議及び研修

- ・研修会名 平成29年度 静岡県成年後見制度利用促進セミナー
- ・日時 平成29年12月15日
- ・場所 静岡商工会議所 静岡事務所会館

② 相談件数 175件

内訳：認知症高齢者 90件、知的障がい者 1件、精神障がい者 53件、その他 31件

③ 訪問・調査件数 68件 ④ 契約締結件数 2件 ⑤生活支援員数 5名

(8) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

生活に困窮する方や社会的に孤立する方に対して、生活保護に至る前に経済的・社会的自立を目的として、市社会福祉課内に自立相談支援事業所「伊東市くらし相談センターこころ」を開設し、主任相談支援員1人・相談支援員1人を配置し相談支援を実施した。

①情報提供・相談対応 50人（前年度比17人減）

相談支援員の助言により相談者の生活上問題を解決支援した。

相談内容	人数
仕事について（就労・就職活動）	8人
家計相談（滞納・未納・債務）	15人
育児・教育について	1人
住宅の問題（売却・改修・転宅）	3人
福祉・医療について（費用・要望）	6人
本人・家族の問題（病気・障がい・離婚・相続）	17人
計	50人

②他制度・他機関へのつなぎ支援 46人（前年度比4人増）

相談者の課題を把握し他制度・機関と連携しながら支援を実施した。

相談内容	つなぎ先機関	人数
本人・家族の問題(病気・障がい)による生活困窮	社会福祉課生活保護係	7人
年金受給・就労開始までの生活		2人
所持金がない・住居がない又は喪失する恐れがある		7人
年金相談（低額・無年金の生活）		1人
本人・家族の相談（病気・障がい等）	社会福祉課障害係・子育て支援課・サポートいとう	3人
障がい者の就労支援	障がい者就業・生活支援センター	1人
高齢による生活上の問題（病気・認知症疑い等）	高齢者福祉課、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所	7人
住居を喪失する恐れがある	不動産業者	3人
育児相談	幼児教育課・子育て支援課	4人
本人・家族の債務について	法律相談・法律事務所	2人
融資の相談	社会福祉協議会・商工会議所	4人
生活習慣の改善・居場所づくり	伊東市社会福祉協議会	1人
家計管理の問題	家計相談支援事業	4人
計		46人

※相談者の課題が重複している場合は相談者の主訴を計上。

③支援プランの作成 32人（前年度比1人増）

相談受付後、相談者の経済的自立・社会的孤立からの脱却を目標とする支援プランを作成し、生活困窮者自立支援事業法に基づくその他の事業及び関連する事業と連携して支援を実施した。

【プラン作成者の支援内訳】

事業・制度名	支援内容	利用回数
ワークライフサポート事業	ハローワークの個別就労支援	15回
住居確保給付金	住居喪失又は恐れのある者への家賃給付	6回
家計相談支援事業（こころ）	家計管理意欲の向上を目的とした支援	5回
就労準備支援事業	就職活動前の生活習慣の改善等の支援	7回
生活福祉資金貸付制度	生計維持を目的とした貸付による支援	2回
自立相談支援事業（こころ）	就労の意欲喚起、通院同行、家計相談等の支援	16回

④家計相談支援事業プランの作成 5人

自立相談支援事業のプランを作成する相談者で、自立のために家計収支の改善や家計管理能力の向上のプランを作成した。

⑤支援調整会議の開催 31回（前年度比 増減なし）

市担当職員、支援実施機関担当者、社会福祉協議会担当係長、自立相談支援員、家計相談員、就労支援員で構成し、本会議にて相談者の支援プラン（案）を確定（決定・確認・評価・終結）した。

支援プランの決定	31件
支援プランの評価	33件
支援プランの終結	15件

(9) 生活支援サービス推進事業

介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者を地域で支える仕組みづくりや助け合い活動を進める生活支援サービス提供体制づくりを行った。

①生活支援サービスサポーター養成講座の開催

市高齢者福祉課、地域包括支援センター等の協力により市民を対象に生活支援の担い手の養成を図った。

回数	開催日	場所	受講者	内容
第1回	平成29年 7月19日(水)	市役所	4名	福祉制度説明、地域課題の理解と地域づくり、高齢者の理解、コミュニケーション技術、一次救命救命処置
第2回	7月26日(水)	健康福祉センター	15名	
第3回	10月27日(金)	八幡野コミセン	17名	
第4回	11月17日(金)	宇佐美コミセン	11名	
第5回	11月28日(火)	生涯学習センター	15名	
第6回	平成30年 2月27日(火)	健康福祉センター	15名	
計			77人	

②生活支援サポーターの登録状況

生活支援サポーター養成講座終了者のうち、支援活動への協力者の登録を行った。

登録者数	77人	登録圏域	宇佐美圏域16人、伊東圏域10人、中央圏域 8人 小室圏域19人、対島圏域24人
------	-----	------	---

③生活支援サービスの需給調整（サービスのマッチング状況）

- 1) 軽微な生活支援（ゴミ出し） 2件 延支援回数49回
- 2) 草刈り支援 1件 延支援回数 1回
- 3) 屋内大掃除 2件 延支援回数 2回

④協議体の運営への協力

高齢者の在宅生活を支える関係機関で構成する協議体において、住民ニーズ及びサービス資源の把握・情報共有を通して、生活支援体制の構築に取り組んだ。

- ・開催日 平成29年12月13日(水)
- ・場所 伊東市役所8階大会議室

- ・内 容 第1回協議体会議及び研修会（「協議体とは…協議体の役割について」公益財団法人さわやか福祉財団・さわやか静岡）

⑤事業推進及び地域づくりのための啓発活動

1) 老人クラブ富士見長寿会研修会での事業説明

- ・日時 平成30年2月21日(水)
- ・場所 富士見会館

2) 東部地域生活支援コーディネーター情報交換会での活動状況の報告

- ・日時 平成30年2月5日(月)
- ・場所 東部総合庁舎

(10) 地域介護予防活動支援事業

南伊東地域センターなごみにおいて、地域の高齢者の交流と介護予防の拠点として、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを深めるサロンを実施した。

- ・開 催 週5日 13:00～15:00
- ・開設日数 243日
- ・参加者 5,018人
- ・内 容 健康体操と講話12回（熱中症予防、インフルエンザ予防、脳トレ、川柳、防災、交通安全、介護保険制度等福祉制度の説明）

(11) 子育てサロン受託事業

今年度の運営は平成30年4月の本格実施に向けて、プレオープンとして、旧伊東幼稚園湯川分園に、保育士資格を有する職員を配置し、未就園の子育て中の親子を対象に子育てに関する相談、親同士の交流を図り、安心して過ごせる場を提供する事業を実施した。

- ・開 設 日 平成30年1月31日
- ・開設日数 9日間（週1日）
- ・利用者数 30名
- ・延利用者 166名（保護者延81名、児童延85名）

5 公益事業（職員派遣事業）

(1) 中央地域包括支援センターへの職員派遣事業を実施した。

- ① 派遣職員 3名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、介護支援専門員1名）
- ② 派遣業務 総合相談業務及びケアプラン作成業務
- ③ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ④ 派遣期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

(2) 在宅医療介護連携・認知症総合支援事業への職員派遣事業を実施した。

- ① 派遣職員 1名（保健師）
- ② 派遣業務 医療と介護連携のための連絡調整及び認知症の理解及び地域支援
- ③ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ④ 派遣期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

(3) 指定児童発達支援所への職員派遣事業を実施した。

- ① 派遣職員 1名（社会福祉士）
- ② 派遣業務 障害児家族への相談支援

- ③ 派遣先 指定児童発達支援所さくら園
- ④ 派遣期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

6 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会（委員数30名）の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成29年 6月20日 (出席者25名)	平成28年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算の認定について
平成29年 8月31日 (出席者25名)	平成29年度共同募金(赤い羽根)実施計画の認定、平成29年度県共同募金の申請状況の報告
平成29年11月27日 (出席者22名)	平成29年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成29年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成30年1月30日 (出席者23名)	平成29年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分結果報告
平成30年3月26日 (出席者20名)	平成29年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成30年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算の認定

(2) 共同募金(赤い羽根)運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により、市民各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県目標額 (広域目標額)	市目標額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
2,940,000	3,740,000	4,112,020	1,515,601	196,576	164,423	5,988,620

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額(平成29年度募金実機による配分)

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	3,375,722円	平成30年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	291,800円	赤い羽根事務費208,800円、歳末たすけあい83,000円
合 計	3,667,522円	

(3) 歳末たすけあい運動

① 募 金 実 績 額

目標額には達しているが、募金実績額は前年より下回っている状況である。

目 標 額	区 分 別 実 績 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
2,799,000円	1,277,000円	572,190円	970,823円	2,820,013円

② 配 分 内 容

生活に困窮する世帯(第二種世帯)を申請制度にしたことにより、前年より減少した。

配 分 対 象	配 分 金 額	摘 要
第 二 種 世 帯	1,265,000円	第二種世帯79世帯209人、第二種新入学児童5人
在 宅 障 害 者	378,000円	特別障害者手当受給者 45人、精神障害者9人
在 宅 障 害 児	147,000円	障害児福祉手当受給者 21人
交 通 遺 児	0円	交通遺児 一人
在宅ねたきり老人	420,000円	在宅ねたきり老人 60人
配 分 経 費	58,290円	通信運搬費、消耗品
平成30年度事務費	83,000円	次年度事務経費準備金
合 計	2,351,290円	

※募金実績額と配分総額（次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。）の収支差468,723円は、次年度の赤い羽根共同募金配分金事業費に充当されます。

(4) 老人福祉活動事業

老人クラブ連合会に対し、運営及び事業へ助成を行った。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸、大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・手をつなぐ育成会への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額755,200円の助成を行った。

② 子どもの遊び場助成事業（申請なし）

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

本会と協働して、地域福祉活動を進める関係機関・団体に助成した。

- ・配分対象 10団体 配分額 957,000円

② 災害見舞金支給事業（風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金の支給）

- ・支給件数 2件
- ・支給総額 20,000円

[全焼(20,000円) 0件、半焼(10,000円) 2件、一部焼(5,000円) 0件、半壊(10,000円) 0件]

③ 緊急食糧配布事業

その日の食べ物にも事欠くという緊急性の高い困窮者に、2日分の食糧支援を行った。

- ・利用者 15人
- ・延利用回数 18回
- ・配布食数 22人分 (2日分/人)

7 貸付金事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯を対象に、民生委員児童委員と連携を図り、緊急に生活費を必要とする世帯に資金の貸付と相談援助を行い、世帯の自立のための支援を行った。

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。

なお、貸付金額は前年比40.5%増であり、償還率は65.9%となっています。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額		未回収金額	欠損処分量
	現年度分	過年度分		
68件 1,612,000円 (前年度44件1,147,000円)	80回	29回	550,000円	0円
	計	111回	8,202,420円	0円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

高額医療費の支払いに困窮する国保被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額		未回収金額	欠損処分量
	現年度分	過年度分		
33件 5,221,000円 (前年度38件 6,166,000円)	28回	13回	919,000円	0円
	計	41回	1,394,625円	0円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種別	件数	貸付金額	貸付対象者	貸付の内容	
総合支援資金	生活支援費	0件	0円	低所得者世帯	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件	0円		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件	0円		公共料金、転居費用等
福祉資金	福祉費	1件	95,000円	低所得者世帯 障害者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費用、
	緊急小口資金	1件	100,000円	高齢者世帯	一時的な生活費
教育支援資金	教育支援費	0件	0円	低所得者世帯	就学に必要な経費
	就学支度費	0件	0円		入学に際し、必要な経費
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1件	7,000,000円	高齢者世帯	不動産を担保に老後の生活資金の貸付
計		3件	7,195,000円		

※貸付利子：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利子、連帯保証人がない場合は年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

(4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを条件に無利子で一時的な生活費（10万円以内）の貸付の相談支援を行う。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
0件	0円	—	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

8 指定訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や生活援助等のホームヘルプサービスを提供した。

- ① 配置職員数 常勤3名・非常勤9名（非常勤3名・登録6名）
- ② 年間延利用者数 590人（前年比 178人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 49.2人（前年比 14.8人減）
- ④ 年間サービス提供時間 8,205.4時間（前年比 291時間増）

内訳	区分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
	時間数	1,163.1時間	3,631.0時間	1,635.6時間	1,775.7
	構成比	14.2%	44.3%	19.9%	21.6%

- ⑤ 1ヵ月あたりサービス提供時間数 683.8時間数（前年比 24.3時間減）

9 居宅介護支援事業

利用契約された要支援高齢者に対し、個々の解決すべき課題に応じた介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要支援者の自立支援を行った。

- ① 配置職員数 常勤4名（内1名嘱託）
- ② 年間延作成数 944プラン（前年比 27プラン減）

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	作成数	305	364	119	97	59
	構成比	32.3%	38.5%	12.6%	10.3%	6.3%

- ③ 1ヵ月あたり作成数 78.6人（前年比 2.3人減）
- ④ 介護予防プランの受託（地域包括支援センターからの受託事業）
介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。
介護予防プラン年間延作成数 214プラン（前年比170プラン増）
- ⑤ 介護認定調査（委託事業） 85件（前年比66件増）

10 指定訪問入浴事業

(1) 指定訪問入浴事業の運営（平成30年3月末 事業廃止）

要介護者の自宅において、移動入浴車による入浴サービスの提供を行った。

- ① 配置職員数 常勤3名（看護師2名、介助員1名）・非常勤3名（介助員）
- ② 年間延利用者数 65人（前年比 94人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 5.4人（前年比 7.9人減）
- ④ 年間実施回数 332回（前年比 420回減）
- ⑤ 1ヵ月あたり実施回数 27.6回（前年比 35.1回減）

(2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
3名 (前年比1名増)	36世帯 (前年比12世帯増)	176回 (前年比17回減)	14.6回 (前年比1.5回減)

1.1 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

- ① 実利用人員 16人 (前年比2人減)
- ② 年間延利用人数 199人 (前年比50人減)
- ③ 年間サービス提供時間数 2,951.5時間 (前年比659時間減)

提供時間数 内訳	区分	身体介護	家事援助	同行援護
	時間数	1,097.0時間	1,360.5時間	494.0時間
	構成比	37.2%	46.1%	16.7%

1.2 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行った。

- (1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭(実施日 平成29年5月30日(月) 会場 小室山公園)の式典運営への協力を行った。
- (2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。
- (3) 旧保健福祉センターの管理(地域開放)

地域高齢者の活動の拠点として、地域老人クラブの生きがい活動及び隣接障害者施設、介護予防活動を実施した。

- ・利用回数 321回[利用団体 6団体(高齢者関連5、障害関連1)、介護予防事業]
- ・利用人員 6,037人

以上